

学習評価の進め方ワークシート（社会）

【「学習評価の進め方ワークシート」の使い方】

学習指導要領の改訂に伴い、評価の観点が3観点に整理されたことに加え、単元や内容のまとまりにおける評価が一層重視されるようになったことで、学校現場ではどのように児童を評価したらよいか迷われている先生方もいらっしゃると思います。

そこで、具体的に単元の評価規準を作成したり指導計画を立てたりすることで、新しい評価における理解を深めていただくことを目的とした「学習評価の進め方ワークシート」を作成しました。

右に示した「新学習指導要領における学習評価の在り方」の資料や文部科学省国立教育政策研究所から公表された「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料等を基に、以下のワークシートの手順に従い、一単元の評価を実施してみてください。

※「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料(<https://www.nier.go.jp/kaihatsu/shidousiryou.html>) 国立教育政策研究所

()年 単元名 ()

1 単元の目標を作成する

<単元の目標> 学習指導要領解説を基に、単元の目標を作成しましょう。



2 単元の評価規準を作成する

<学習指導要領における単元の該当箇所> 学習指導要領から該当する単元の記載内容を抜き出しましょう。

(1) ()について、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。
ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。

<単元の評価規準>

各教科の「新学習指導要領における学習評価の在り方」を基に作成しましょう。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

新学習指導要領における
学習評価の在り方

小学校社会



① 単元における学習評価の進め方

- 単元における観点別学習状況の評価を実施するに当たり、以下のように進めることが考えられる。
- | | |
|-------------------|---|
| 1 単元の目標を作成する | ① ②については、学習指導要領の目標や内容、学習指導要領解説、児童の実態、前単元までの学習状況などを踏まえる。 |
| 2 単元の評価規準を作成する | ③については、①②を踏まえ、評価場面や評価方法等を計画する。
どのような評価資料を基に、「おおむね満足できる」状況(B)と評価するかを考えたり、「努力をする」状況(C)への手立て等を考えたりする。 |
| 3 「指導と評価の計画」を作成する | ④については、③に沿って観点別学習状況の評価を行い、児童の学習改善や教師の指導改善につなげる。 |
| 授業を行う | ⑤については、集めた評価資料やそれにに基づく評価結果などから、観点ごとの総括的評価(A、B、C)を行う。 |
| 4 観点ごとに総括する | |

② 単元における「主体的に学習に取り組む態度」の評価規準の作成方法

次に示した学習指導要領の記述形式等を踏まえて、単元の評価規準を作成する。

小学校学習指導要領の記述形式より（一部）

- (1) ①について、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。
ア 次のような知識や技能を身に付けること
(2) Bを理解すること
(3) Cなど調べて、Dなどにまとめること
(4) 次のような思考力、判断力、表現力を身に付けること
(5) Eなどに着目して、Fを捉え、Gを考え、表現すること

Point!

- ②の単元の評価規準を作成するに当たっては、「学習したことを基に○○を考えようとして

3 「指導と評価の計画」を作成する

評価規準の内容を最も評価できる場面で、適切な評価方法を考えましょう。また、枠が足りないときは、同様の形式を作成して、なるべく詳しい計画を立ててみましょう。



時間	ねらい	○主な学習活動	□資料	評価方法と【評価規準】
(中略)				

授業を行う



児童への学習状況のフィードバックや授業改善に生かす機能を一層充実させることが大切です。

4 観点ごとに総括する

評価の観点ごとの総括及び評定への総括の考え方や方法について、教師間で共通理解を図り、児童や保護者に説明し理解を得ましょう。



(例1) 評価結果のA、B、Cを数値に置き換えて総括する場合

A	B	C
3点	2点	1点

総括の結果をBとする範囲を[2.5≥平均値≥1.5]とする。

学習活動	1	2	3	4	5	6	総括	単元の評価
知識・技能								
思考・判断・表現								
主体的に学習に取り組む態度								

(例2) 評価の結果のA、B、Cの数を基に総括する場合

「A、B」のように数が同数の場合や「A、B、C」のように混在する場合は、あらかじめ総括の仕方を決めておくことが必要です。

学習活動	1	2	3	4	5	6	単元の評価
知識・技能							
思考・判断・表現							
主体的に学習に取り組む態度							